

働きがいも経済成長も (水曜2クラス)

① それぞれの国の状況に応じて、**人びとが経済的に豊かになっていけるようにする**。開発途上国、特に開発が遅れている国は、**毎年少なくとも年7%の国内総生産 (GDP)の成長を続けられるようにする**。

※国内総生産とは、その国で1年間に新しく生み出された ものやサービスの 合計金額

② 働きがいのある人間らしい仕事をふやしたり、会社を始めたり、**新しいことを始めたりすることを助ける**政策をすすめる。特に、**中小規模の会社の設立や成長を 応援する**。

③ 2030年までに、消費と生産において、**世界がより効率よく資源を使えるようにしていく**。また、先進国が主導しながら、計画にしたがって、**経済成長が、環境を悪化させることにつながらないようにする**。

④ 2030年までに、若い人たちや障害がある人たち、男性も女性も、**働きがいのある人間らしい仕事を**できるようにする。そして、**同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする**。

⑤ 2020年までに、**仕事も、通学もせず、職業訓練もうけていない若い人たちの数を大きくへらす**。

⑥ むりやり働かせること、奴隷のように働かせること、人を売り買いすることをおわらせるために、**効果的な取り組みを緊急におこない、子どもを兵士にすることをふくめた最悪の形の児童労働を確実に禁止し、なくす**。また、2025年までに、**あらゆる形の児童労働をなくす**。

⑦ 他国に移住して働いている人、中でも女性、仕事を続けられるか不安定な状況で働いている人を含めた**すべての人の働く権利を守って、安全に安心して仕事ができる環境をすすめていく**。

〈参考〉



紛争により、兵士にされている子どもが何万人もいる。

若者の失業率

